

事務事業名		青少年海外派遣等交流事業		所属部	教育委員会	所属課	キャリア教育政策課
総合計画体系	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち<<教育・文化>>		所属G	キャリア教育政策G	課長名	工藤松太郎
	施策名	(28)青少年健全育成の推進		担当者名	福島勇樹	電話番号	0854-40-1074 (内線) 2241
	目的(対象)	青少年(就学後~30歳未満の市 民)	意図 社会でたくましく生き抜く力を身に付ける。	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 5 0 0 3 項 目 中事業 中事業 2 5 0 5	社会教育推進事業 29)青少年海外派遣等交流事業 30)青少年海外派遣等派遣事業助成金	
	基本事業名	(083)地域における交流体験・学習活動の推進					
目的(対象)	青少年	意図 たくましく生き抜く力を身に付ける。					

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度~)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
雲南市青少年海外派遣等交流事業実行委員会に対し、青少年派遣のための補助金を交付する。
(実行委員会)参加者募集により市内中学生・高校生を海外交流都市へ派遣する。アメリカリッチモンド市と韓国清道郡の隔年開催。韓国清道郡との交流は相互交流。

(2) 事務事業の手段・指標

① 主な活動					
R元年度実績 (R元年度に行った主な活動)	R2年度計画 (R2年度に計画する主な活動)				
手段	(実行委員会)委員会開催(年2回) (受入)7月19日~23日:韓国清道郡から中学生7名と引率者3名を受入 (派遣)8月4日~8日:雲南市の中高生4名と引率者3名を清道郡に派遣 ※参加者決定から海外派遣までの間に事前研修を実施し、雲南市の紹介ツールの作成や研修内容について協議 廃止				
② 活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
ア 派遣日数	日	5	12	5	-
イ 研修会・報告会の開催回数	回	4	8	6	-
ウ					
エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	(市)雲南市青少年海外派遣等交流事業実行委員会 (実行委員会)市内在住の中学生及び高校生	ア 雲南市青少年海外派遣等交流事業実行委員会	組織	1	1	1	-
		イ 中学生・高校生	人	1,810	1,796	1,758	-
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	雲南市の青少年に対し、国際交流の機会を提供し、将来の雲南市のリーダーを育成する	ア 応募者人数	人	11	10	4	-
		イ 参加者人数	人	8	7	4	-
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
●中事業:青少年海外派遣等交流事業助成金補助金 1,200,000円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
●中事業:青少年海外派遣等交流事業報償費 72,190円 旅費 141,164円	事業費	地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	1,667	1,874	1,413
		事業費計 (A)	千円	1,667	1,874	1,413
	人件費	正規職員従事人数	人	2	3	3
		延べ業務時間	時間	400	420	430
		人件費計 (B)	千円	1,631	1,819	1,823
		トータルコスト(A)+(B)	千円	3,298	3,693	3,236

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
グローバル化をはじめとする社会状況の変化等も背景として、民間事業者が主催する多様な海外研修プログラムが数多く展開され、中学生や高校生の海外志向も高まりつつある。	政策企画部から教育委員会への事務移管(H28年度)を踏まえ、キャリア教育・探究的な学びという観点をより大切にしたプログラム構築を図っている。	学校:観光的な要素が主の事業でなく、高い目的意識を持てる教育課程と繋がるプログラムや生徒が主体的な力を育むことのできるプログラムへの転換を求める声がある。

事務事業名	青少年海外派遣等交流事業	所属部	教育委員会	所属課	キャリア教育政策課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合	民間事業者による多様な留学プログラムが展開されるなど、必ずしも行政が補助金を出さなくとも子どもたちのニーズに応える環境は整いつつある。	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input type="checkbox"/> 妥当である *余地がある場合			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由	派遣先を含め事業スキームを大幅に見直すことで、成果の向上余地がある。	
C 効率性	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由	本事業は、リッチモンド市と清道郡との相互協力により推進してきた事業であること、特に清道郡とは相互交流であること等から相手方への影響等が考えられる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	(具体的な手段や類似事業名)	スペシャルチャレンジ・ジュニア事業	
<input type="checkbox"/> 他に手段がない	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由	国際交流の機会を提供するという意図については、H30年度に新設されたスペシャルチャレンジ・ジュニア事業でより発展的なプログラムとして展開することができるため。	
D 公平性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	渡航経費や訪問先への協力謝金などが事業費の大部分であり、個人負担(リッチモンド200,000円、清道郡60,000円)を大幅に変更しない限り、削減することはできない。
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	実行委員会の事務局を担っており、訪問先との連絡調整業務など業務が多岐に及ぶことから、人件費の削減は困難である。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由	広く市内在住の中高生を対象とした国際交流事業に対する補助金であり、また個人負担も求めており公平・公正である。
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持		×																
	低下	×	×																
<p>実行委員会においては、感染症リスクや国際情勢に左右される事業実施上の困難さを踏まえ、R元年度をもって事業を終了する決定をされたところであり補助金交付は廃止とするが、雲南市が目指す育てたい子ども像に直結する事業、さらには、子どもたちや学校側からのニーズにも応えることのできる場づくり、子どもたちのチャレンジを後押しできる場づくりには、引き続き注力する必要がある。リッチモンド市、清道郡との交流に関しては、国際交流を所管する政策企画部や関係団体とも連携を図りながら、相手方の意向も踏まえ方向性を見出す。</p>																			